

イエノコト 暮らしのお便り

Vol.109
12月号



旧暦のある暮らし
令和三年 丑年 師走

師走がスタートしました。昨年に比べると嬉しく、そして忙しい年末になりそうです。本当に、やっと故郷で親族が集まるお正月を迎える事が出来そうです。

久しぶりに故郷の家に掃除に戻ると、洗濯機は壊れ、トイレは故障していました。誰も使っていないお家は、傷み方がこんなにも早いんだと改めて感じました。片付けをお伝えするようになって十年が過ぎ、お家を残していくことをお伝えして、もうすぐ五年になるうとしています。人が生きていくうえで、大切な暮らしを自分らしく整える。これからも自分らしさを見つけていくことを、皆さまと続けていきたいと思う十二月師走の候。

二〇二一年も、無事に過ぎていくことができましたことを心から感謝いたします。

師走に思うこと

いつの間にか、気づけば師走です。この一年を振り返ると、一体何を成せたのだろうかと反省しきりです。自分の頭で深く物事を考えずに、ただ日常に流されて過ごしていくことは、楽です。でも、振り返ってみると、そこには何も残っていません。

自分から的人生をいかに生きていくか。これが本当にやりたいと思えることは、何なのか…。

誰もが忙しい師走ではありますが、少しだけ立ち止まって腰を下ろし、ゆっくりと自問してみる時間を作ってみようと思います。そして、自分の道しるべとなるものが、ほんの少しでも見えたなら、来るべき新年を迎える準備の最たるものの大掃除も苦にならずに、こなせるのではないかなあと密かに期待しています。

(文 宮本)



旦那あるある



猫と同じ☆

「自立のすすめマイルール」

自分の部屋

いまのうちから自分で掃除

あなたには、子ども部屋があるだろうか。それとも、居間に勉強机を置いて「私のコーナー」にしているかもしれない。どちらにしても、そこを掃除している人は、誰だろう。お母さん？時々、自分？お母さんが家中を掃除するついでに、あなたの場所も掃除してくれるのかな。

自分の机や部屋は、自分で掃除しようよ。掃除機だって、使い方は簡単だ。お母さんは喜んで使い方を教えてくれるだろう。自分で掃除すれば、大事なものを勝手に捨てられて困ることもなくなるしね。そのうち好きな子からの手紙とか親に見られたくない物ができてくるだろう。それから「自分でする」って言い出すと、「アヤシイ」ってわかつちゃうからね。

(著 辰巳 渚)



今月の推し

伊賀焼 稲葉直人さんの土鍋

伊賀焼は国指定の伝統工芸品。古琵琶湖時代、花崗岩が風化し湖底に堆積してできた陶土の風合いが特徴です。稲葉直人さんはその職人の一人。伝統的な手法で一点一点作陶。鍋の形、絵付け、全てが料理を引き立てます。



画像元：稲葉直人HP



我々の知恵の宝 洋子ばあばの知恵

「畏敬の念」

森羅万象に畏敬の念を抱く。「畏敬の念」とは、日本人の精神文化を象徴する心情です。大自然や神などの崇高な存在などに対して、畏れ敬う気持ちです。万物に神が宿るという考え方から、神事や祭りが生まれ、自然と共に生きてきた日本人です。

自然の移ろいは、三六五日の四季の中にあり、たくさんの知恵も、その季節と共に見つけることができます。

いろいろな道具を使えることも大切ですが、無から有へと、何も無いところから何かを生み出す過程を楽しんでみることも大切なのではないかと思います。

くらし メモ

山本家の
いえのこと



イエノコト株式会社

一気に変えない。

5人家族（小3、中1、中3、パパ、私）の我が家のルール。

- ①晩ご飯の後の食器洗いは、自分が使ったものは自分で洗う。
- ②お風呂掃除は曜日で当番制

といったように、家事をみんなで行っています。これに味を占めた私は、次は何を分担しようかな〜と考えてもっと楽をしようと思ったり。

今や当たり前になった家事の分担制。でも、最初っからできていた訳ではありません。

前までは、全部抱え込んで、食器洗いをしながらなぜか涙が出てきたり、どうして自分ばかり、私は家政婦じゃない、と思う日もありました。

では、どうやって今のようになったのか。

- ①まずは、お風呂掃除から分担してみた。
- ②慣れてきたら、友達がやっていた食器洗い分担制を真似して、ある日思い切って提案してみた。

一気に変えようとするのではなく、お風呂掃除から分担することに。それが慣れてから、次は食器洗い、といったように、まずは慣れさせることから始めました。



全部させない。

次に食器洗い。前までは、年に何回か急に思いついて、「今日洗い物して〜」と言ったり、突然パパから子どもたちに、「今日洗いなさい」と言って、テーブルのお皿を持っていくところから、洗うところまで、とにかく全部させていました。

でも、子どもにだってタイミングがあるし、普段やっていないのに突然全部やるのは重労働。そして強制的にやらされているので、家事=嫌なモノと認識してしまい続きません。でも、自分の使った食器だけだったら楽だし、洗ってしまえば何も言われないので、うちの場合は、このやり方が定着しました。

洗われずにそのままになっていても、手は出さず、そのままにしておきます。だから、お弁当箱が何日もそのままになっていることも。

ただ、子どもも塾や宿題で大変な時もあるから、その時は「今日はやろうか？」と、声かけはします。お互いさまの気持ちを忘れないようにすることが大切だと思います。

こんな感じで家事を分担するようになって変わったことは、家事をそれぞれが「自分事」として捉え、私一人でやっていた時にはなかった「ありがとう」が自然と声かけできるようになったこと。

よその家でできることと、自分の家族ができることは違います。正解なんて、ありません。でも家族を信じて、できることからみんなで「いえのこと」をやっていくことが大切なんだと思ったのでした。

イエノコトのInstagram
フォローお願いします♪



山本 祥子
(2級家事セラピスト)

中3の男子、中1・小3の女子のママ。趣味は韓国ドラマを見ること。好きな言葉は「大丈夫！」

課題 山本

「食器洗い」

1級家事セラピストの
課題、我が家の家事
のレポートです。

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



我が家のルール。

晩ご飯の後の食器洗いは、自分が
使ったものは自分で洗う。

塾で時間が無い時は大目に見ることもありますが、基本はそれぞれが
洗い、調味器具や大皿などは
私が洗って、そして私が全て拭き、しまう。

⑦のお弁当箱は、私の洗い物が終わる
までに、出さなければ、自分で洗うルール
なので、娘が洗うまではこの状態です。

大そうじ大作戦!

親見子あてっだいの塾

楽斤月朝系氏とワイパーで ✨
✨ ピカピカにしよう!

12/19



どうもんでどうしほるの?



どうもんがけよーいどん!



はたきってふに?



ワイパーと新聞紙で窓をピカピカにする

12月19日 (日)

時間 10:00 ~ 12:00
場所 イエノコト
料金 1,000円(税込)
定員 5組
申込 0120-200-789

今回から
参加スタッフも
あつめて
お手伝いマスタ-
にしよう!

ママは
子育ての悩み、
話しましょ

『子育て座談会』



寅

講師 山口麻美子

しめなわワークショップ

12.20.月

時間：14:00~16:00
費用：3,500円（税込）
申込方法：0120-200-789へお電話にてお申込み
定員：8名

※画像はイメージです。

イエコト株式会社